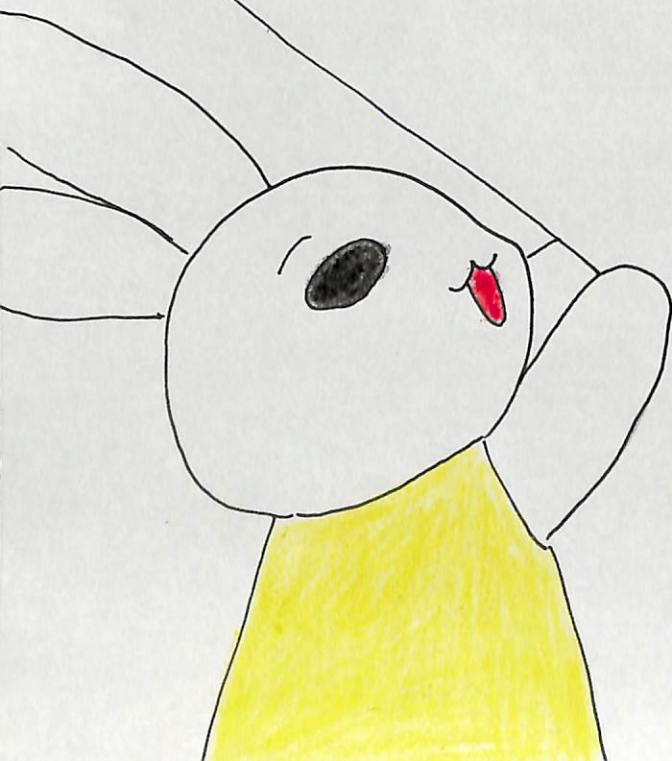


うさぎちゃんの
さかしまもの

さかしまもの



たかくんは、空を散歩するのが大好きです。
今日も気持ち良く散歩をしていました。

「うわ〜ん... うわ〜ん...」

すると、どこからか誰かの泣き声が
聞こえてきました。

「ん？ あそこでうさぎちゃんが泣いてるなあ。
どうしたんだらう？」

泣いているうさぎちゃんをみつけたたかくんは、
うさぎちゃんの元へと降りていきました。



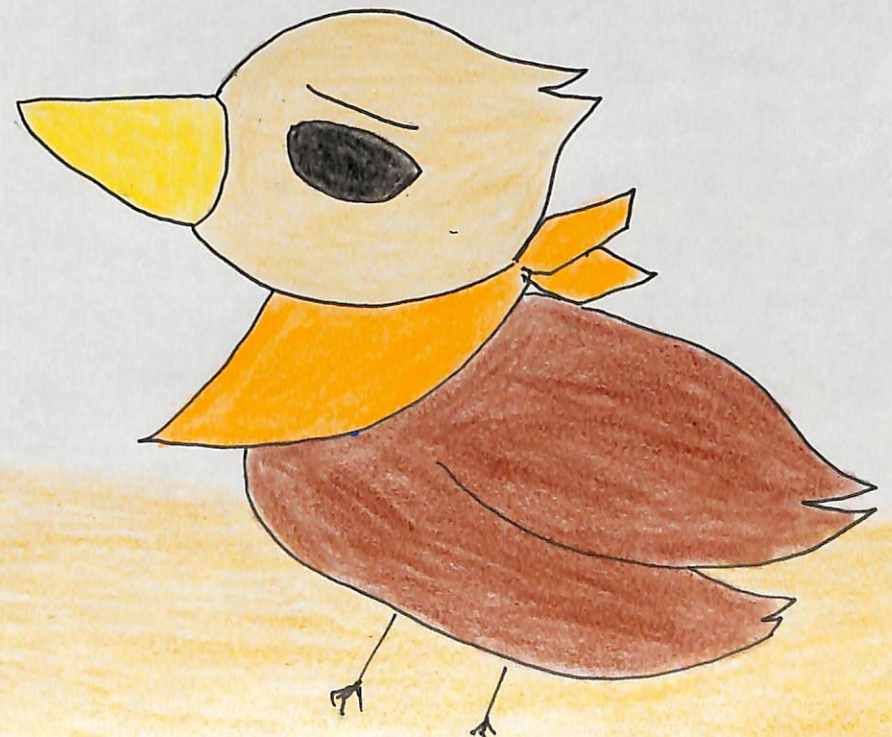
たかくんはうさぎちゃんにたずねました。

「うさぎちゃん、何で泣いてるの？」

「あのね、私が大切にしたもの落としちゃって...
あちこち探したんだけど...どこにもなくて...」

「よし、じゃあぼくが探してきてあげる!!」

そう言うとたかくんは、飛んでいきました。



飛んでいるとお花畑に着きました。
そこでたかくんは、あるものをみつけます。
「あ、もしかしてあの花かざりのことかな？」
たかくんは、かわいい花かざりを
みつけたのです。

たかくんは、花かざりを持って
うさぎちゃんの元へ帰りました。





「えっ! 違うの!?

…じゃあまた行ってくる!!」

たかくんは、また空へ飛んでいきました。

「このかわいい花かざりじゃない!!」
そう言うとうさぎちゃんは、花かざりを遠くまで、
投げ飛ばしてしまいました。





次は、水がきれいな海に着きました。
そこで、たかくんは、あるものを見つけます。
「あ、もしかしてあの貝からのことかな？」
たかくんは、きれいな貝からを見つけましたのです。
たかくんは、貝からを持って、
うさぎちゃんの元へ帰りました。





「このきれいな貝からじゃない!!」

うさぎちゃんは、そう言うし今度は、
貝からを遠くへ投げ飛ばしました。



「え! また!?! くっそー...
意地でもみつけてやる!!」

たかくんは、決意を新たに

また、空へ飛んでいきました。





今度はどこへ行こうかと思いながら、
森の中を飛んでいると、たかくんは、
あるものを見つけました。

「あの汚れたぬいぐるみはどうだろう？
…でもかおくないしきれいで
ないしなあ」

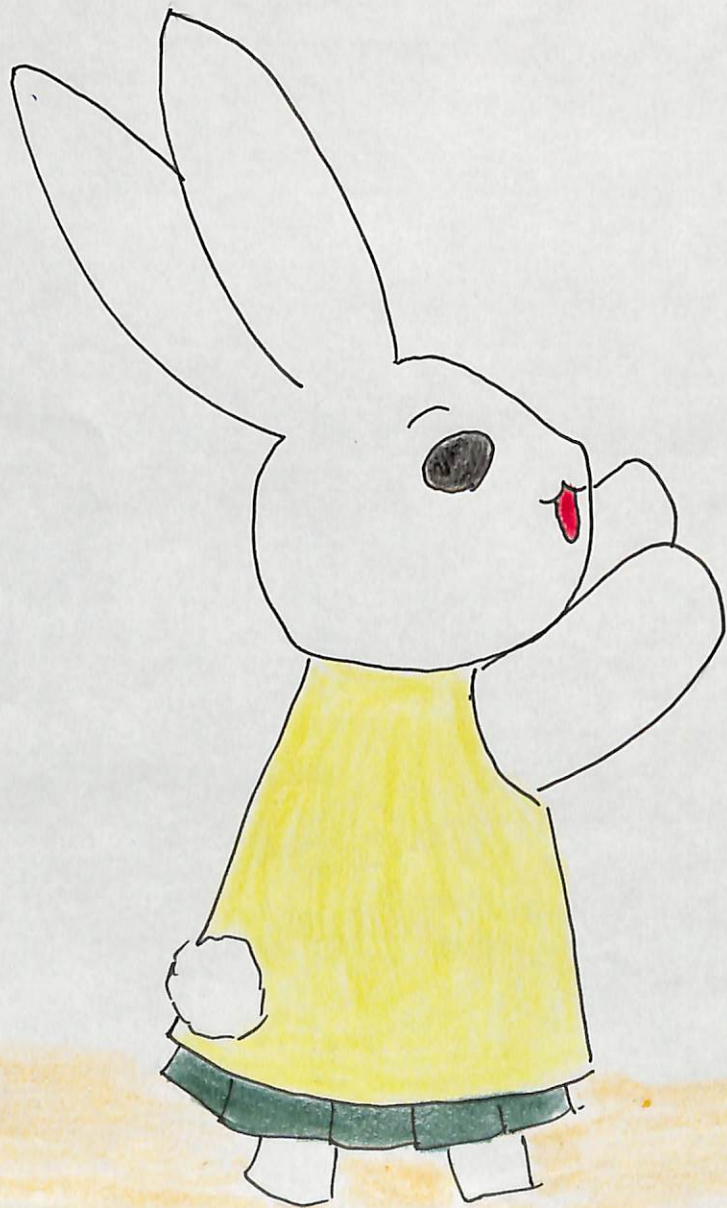
たかくんは、迷いながらも、物は言試した！
と思い、そのぬいぐるみを持って
うさぎちゃんのもとへ帰りました。



「うさぎちゃん、この汚れたぬいぐるみは君のかい？」

「あ！それ！！私の大切なぬいぐるみ！」

うさぎちゃんの大切な物は、みつけたようです。



「ありがとう たかくん！」

「どういたしまして！」

2人は、このことがきっかけで仲良くなり、
一生の友達になりました。

おしまい。

